

人材不足が深刻な介護施設が、 他施設との差別化として企業型DCを導入した事例

業種: 介護・福祉施設

従業員 52名

選択制DC

導入3年目

慢性的な人手不足の中、求人広告の出稿費用は年々かさむ一方でした。「給与水準だけでは近隣の同業施設と差がつけられない」と施設長が感じ始めていた頃、職員アンケートで「この仕事を長く続けた将来が見えない」という声が複数上がったことが、制度導入の後押しになりました。

BEFORE 導入前

- － 慢性的な人手不足の中、給与水準だけでは同業施設との差別化が難しかった
- － 採用媒体費もかさむ一方だった
- － 職員から「将来が見えない」という声があった



AFTER 導入後

- ✓ 「将来の資産形成もサポートする施設」として採用広報に活用できた
- ✓ 選択制のため、パート職員から正職員へのステップアップ時に案内しやすかった

導入後の効果(モデルケース試算)

52名中28名

制度加入者数(正職員)

約6万円/月会社の法定福利費
軽減額(試算・全体)**応募増**口コミ・紹介での
応募が増加(定性評価)

“ 面接で「この施設は将来のことも考えてくれている」と言ってもらえることが増えました。数字には表れにくいですが、確かな手応えです。

(施設長)

求人広告費、増やす前にできることがあります

制度の有無は採用の見え方を変えます。まずは現状の採用課題をお聞かせください。